



SESERAGI-MISHIMA Rotary Club

Weekly Report

せせらぎ三島ロータリークラブ週報

2008～2009年度 RI会長 李 東建

RIテーマ **Make Dreams Real** 夢をかたちに

クラブ会長基本テーマ「20年の生業を基に、仲間を増やそう」

会長 大房正治 副会長 山梨一正 幹事 鈴木政則

第921回例会

司会：遠藤正亀君 指揮：石井邦夫君

2008. 9. 12 (金) 晴れ ロータリーソング「我等の生業」

事務所 三島市大社町17-4

TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会



撮影：山本章君

会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ

会長 大房正治君



9月は新世代のための月間です。本日は静岡県教育委員会青少年課の竹内勉さんの「声掛けでつながる人の輪、地域の和」という挨拶運動です。この事は我々ロータリアンが直ぐに実行できることでございます。地域の行事として防災訓練や町内の清掃特にお祭りの参加が必要になってくると思います。又社会教育課・庄司武史さんに子供達に対して家での躰や、ふれあい等の家庭教育の重要性を講演して頂きました。

教育の荒廃は戦後の日本で最大の失敗だったのではないのでしょうか。多くの若者達は昨今、不勉強になり特に本を読む回数が減り利己主義が増えてきたように見えます。むかしの寺小屋は「読み書き、ソロバン」が主力でしたがいまどきの大学生よりも洩垂れ小僧のほうが暗算が得意ではなかったのかと思ってしまう。

かつては国際標準を上回っていた中学の数学授業時間数はいまや、年間105時間で世界最低クラスだそうです。改定されるとしても200時間のインド、シンガポール、台湾、ベトナムに遠く及びません。高校がほぼ全入になり、いまや大学も全入に近くなってこました。「教育の普及は浮薄の普及なり」という金言に従えばやがて国まで危機を感じてきます。

理工系大学の修了証をいまの企業人は信じていません。学生の中には、交流の電圧が100ボルト、乾電池が1.5ボルトさえ知らないの多いとか、微分積分・三角関数どころか電卓がなければ2ケタのかけ算すらできないと聞きます。こうなると、企業も入社試験では「人柄重視」「協調性」をやめて「学力重視」に切り替えなければなりません。「人柄重視」は基礎学力があって初めて意味があるのではないかと思います。独自の社員

向けの再教育を開設している企業が増えていますが、ものを教えて給料を払う矛盾に何時まで耐えられるでしょうか？

この様なことから、ゆとりから学力重視へとかじを切った新学習指導要領の先行実施が小中学校で平成21年度にせまりました。

幹事報告

幹事 鈴木政則君

- 静岡県教育委員会
青少年課 竹内 勉様
社会教育課 庄司 武史様
- 会員全員39名分の名刺を作る事が理事会で決まりました。
肩書き及び年度は入れず、何年でも使えるようにしました。
- 来週は親睦例会です。
多数の参加をお願いします。
- ガバナー事務所より
ガバナー月信が来ています
- 各クラブより週報が来ています
吉原ロータリークラブ
沼津ロータリークラブ
新富士ロータリークラブ

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	33/38	86.84%	34/38	89.47%
今回	30/38	78.95%	会員総数	39名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井司君、金澤さん、川村さん、土屋君、長島さん、山上君、山本良君、山本章君

ようこそ
南クラブへ

ゲスト

竹内 勉さん 静岡県教育委員会青少年課
庄司武史さん 静岡県教育委員会社会教育課

スマイルボックス

岡良森君：箱根駒ヶ岳の頂上で、20年位前まで営業をしていたスケートリンク、レストランを解体しています。もう朝夕は長袖でも寒いです。

小林勝君：本日所用のため早退いたします。

中村徹君：昨日は横浜鶴見北ロータリークラブにメイクアップに行ってきました。大本山総持寺大祖堂境内にわが国のロータリークラブ創始者米山梅吉氏の墓所が例会会場鶴見カトリック教会の、歩いて7分くらいのところにあります。JRICのメンバーに案内していただいて、突然の雨に降られ、背広は台無しでしたが、立派な米山家のお墓と石原裕次郎のお墓も近いので、参拝してきました。合唱。

なお、横浜鶴見北ロータリークラブのバナーをいただきましたので、ご報告いたします。

中山和雄君：先週は静岡県公協職託登記、土地家屋調査士協会の総会のため、例会及び理事役員会を欠席して申し訳ありませんでした。

松下充孝君：今日は早退させていただきます。

米山晴敏君：すみません。仕事の都合で早退します。

委員会報告

組織規定検討委員会

西原克甫君

前年度よりCLPが当クラブに導入され当クラブ細則、内部規定等を一部変更いたしたいと思っております。

今後、クラブフォーラムの時間に少しずつ皆様と検討して決定したいと思っておりますのでご協力よろしくお願い申し上げます。

変更(案)を事務局より今週発送いたしますので一読の上ご検討願います。

20周年実行委員会

片野誠一君

現在それぞれの委員会において具体的な計画並びに方針についてご検討いただいていることと存じますが、来る9月26日の第4例会は20周年実行委員会の担当例会となります。かねてより予定していただきましたように、各委員会の具体的な計画並びに方針をご発表いただき会員の皆様にご理解をいただくよう進めていきたいと思っておりますのでよろしくご準備の程お願いいたします。

■第2回実行委員会の予定■

日時：9月26日(金)第4例会

●実行委員会次第

1. 実行委員長挨拶
20周年実行委員会の経過報告並びに今後の予定
2. 各実行副委員長
担当委員会の概略の経過報告並びに今後の予定
3. 渉外委員長
委員会の具体的な計画と方針の発表
4. 式典委員長 同上
5. 記念誌委員長 同上
6. 会場委員長 同上
7. 会計委員長 同上
8. 救護委員長 同上

以上のような順序で実行委員会を進めたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

なお、当日の発表資料として別紙「各委員会事業計画書」の統一用紙を準備させていただきましたので、それを利用していただき実行委員会の終了後、ご提出いただきたいと思います。書き足りないようでしたら別の用紙でも結構です。

奉仕プロジェクト委員会

古屋憲男君

国際奉仕プロジェクト並びに地域開発奉仕プロジェクト小委員会は、前年度からの継続事業を実施していますが、両小委員会が将来に向けて何をすべきか等、話し合う機会を持つ事が必要かと思ひ、本年度は、2回のフォーラムの時間をいただきました。

ここで出された意見は、本年度理事会に提出し、次年度以降の事業計画の参考にさせていただけたらと思ひます。

従いまして、国際奉仕プロジェクト小委員会並びに地域開発奉仕プロジェクト小委員会の主旨に添った継続事業とは、どの様な事業が考えられるか、皆様から意見を出していただきたいと思ひます。しかし、その意見が必ずしも次年度以降の事業計画に反映するとは限りません。

皆さんの忌憚のない御意見を9月30日までに下記に御記入の上、古屋までFAXにて提出願います。その内容は10月3日のクラブフォーラムにて発表します。

地域開発プロジェクト委員会

小林勝君

本日の卓話は静岡県教育委員会から指導主事の竹内勉様、社会教育主事の庄司武史様をお迎えしお話をいただきます。静岡県では地域における「人づくり」の視点で、大人が地域の青少年に積極的に関わりを持つことが青少年の健全育成に寄与すると考え「地域の青少年声掛け運動」を実施しております。本日はその趣旨説明に来ていただきました。

卓 話

「地域の青少年声掛け運動」について

静岡県教育委員会 青少年課 竹内 勉さん

1. 地域の青少年声掛け運動とは？

地域の青少年に、周りの大人がみんなで温かなまなざしを向けて声を掛け、積極的に関わりながら青少年の健全な成長を支援する運動。

2. 今、なぜ「声掛け」なのか？

青少年の悲しい事件が起きている。もっと大人が青少年とかかわることで、普段から何でもない会話ができれば、怒りや悲しみが爆発する前に話せることもあるはずである。

地域の青少年に目を向け、私たちの町を、子どもの未来をもっと明るいものにしていけるように、まず大人から声掛けをしていくことが大切である。

3. 「声掛け」の効果

○「自分が見守られている」という安心感や「自分は地域の一員だ」という自尊感情を高めることになり、健全育成への大きなサポートになる。

○防犯にも有効で、犯罪を締め出す力がある。

○今、声を掛けられた子どもたちは、5年後、10年後には声を掛ける大人になる。

4. 運動に参加するには？

地元の市町教育委員会の青少年担当課又は県教育委員会青少年課（054-221-3313 FAX:05

4-221-3362）へ申し込みをしてください。
声掛け運動実行章（バッジ）をお渡しします。

「家庭教育支援」について

静岡県教育委員会 社会教育課 庄司 武史さん

1. 現状

- ・家庭の教育力の低下 児童虐待や道德感の変化
- ・地域の教育力の低下 青少年の事件事故の変化

2. 課題

企業にも、地域の企業として、家庭を持つ者の雇用者として、家庭教育、地域教育についての理解と協力を得る。

3. お願い

○情報提供

- ・「お父さんの子育て手帳」の配布
- ・「静岡県家庭の日」の周知、拡大

○企業等からの家庭教育支援について

- ・従業員が、親としてPTA活動等に参加する機会を支援。
- ・従業員に、家庭教育に関する情報提供をする。
- ・研修会や講演会を開催する。

※企業訪問の要望、要請があれば伺わせていただきます。

IM実行委員会からのプログラム案他は次号の週報に掲載いたします。ご了解ください。

次回卓話



9月19日（金）18時30分
ガバナー補佐挨拶 親睦例会

* * * * Photo Gallery

